

このまちの100年

「堺」

戦国時代、国際貿易により大きな富を得た堺は、戦乱から町を守るために周囲に濠をめぐらせた環濠都市となりました。江戸時代に現在の堺にも続く町の枠組みが作られ、明治時代以後は鉄道も開通し、急速に近代化が進みました。



大正10年

鉄道・路面電車の車両製造を手掛けた、梅鉢鉄工所



大正期

少女歌劇も上演され人気を博した、大浜公会堂



大正期

浜寺駅。私鉄最古の駅舎として平成28年まで使用されていた



昭和前期

南海鉄道(現在の南海電鉄)が開発に乗り出した、初芝住宅地



昭和前期

江戸時代の文化文政時代から形成されていった、堺山之口商店街



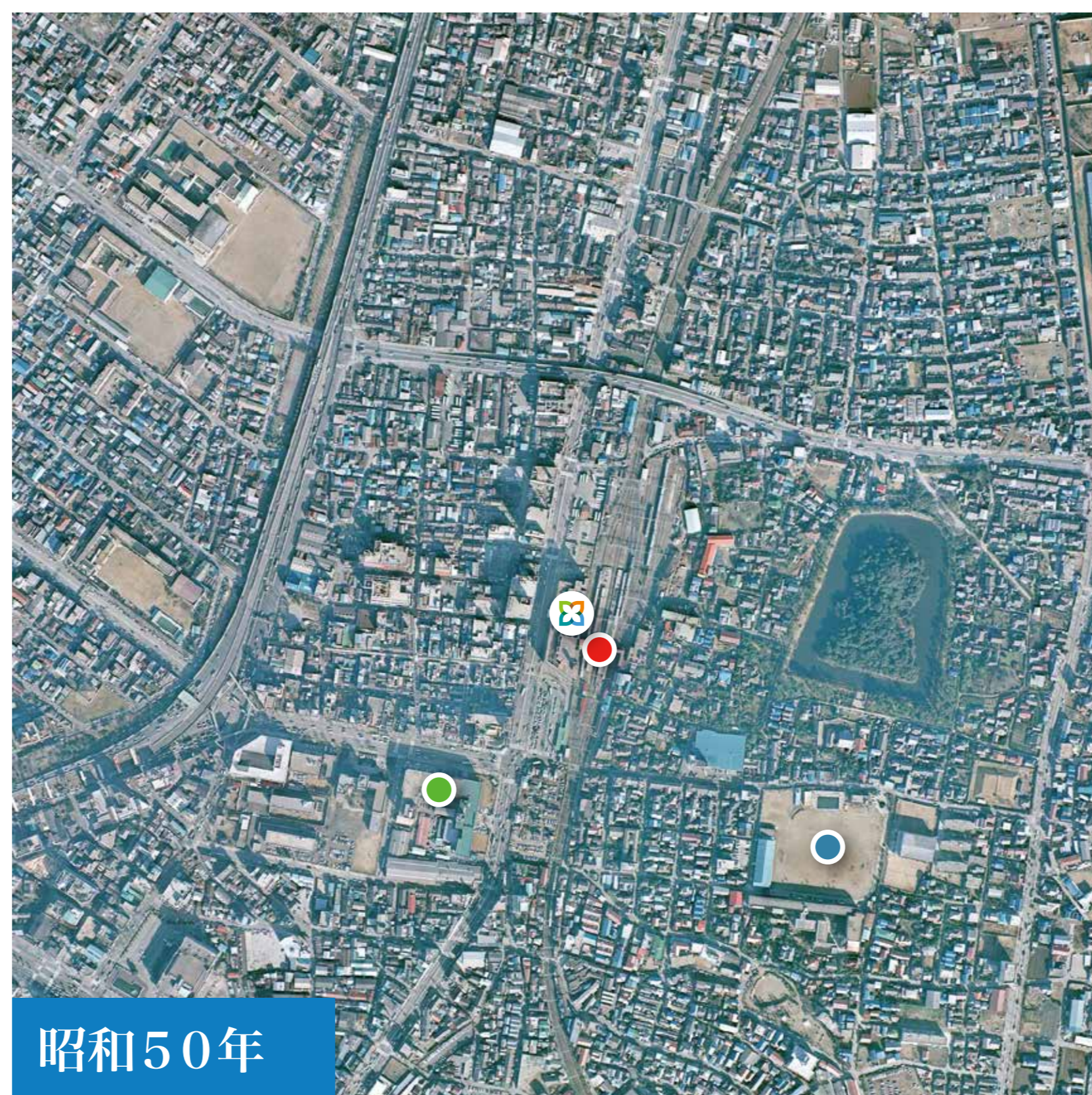
昭和41年頃

高島屋堺店などが入る南海堺東ビルは昭和39年に竣工

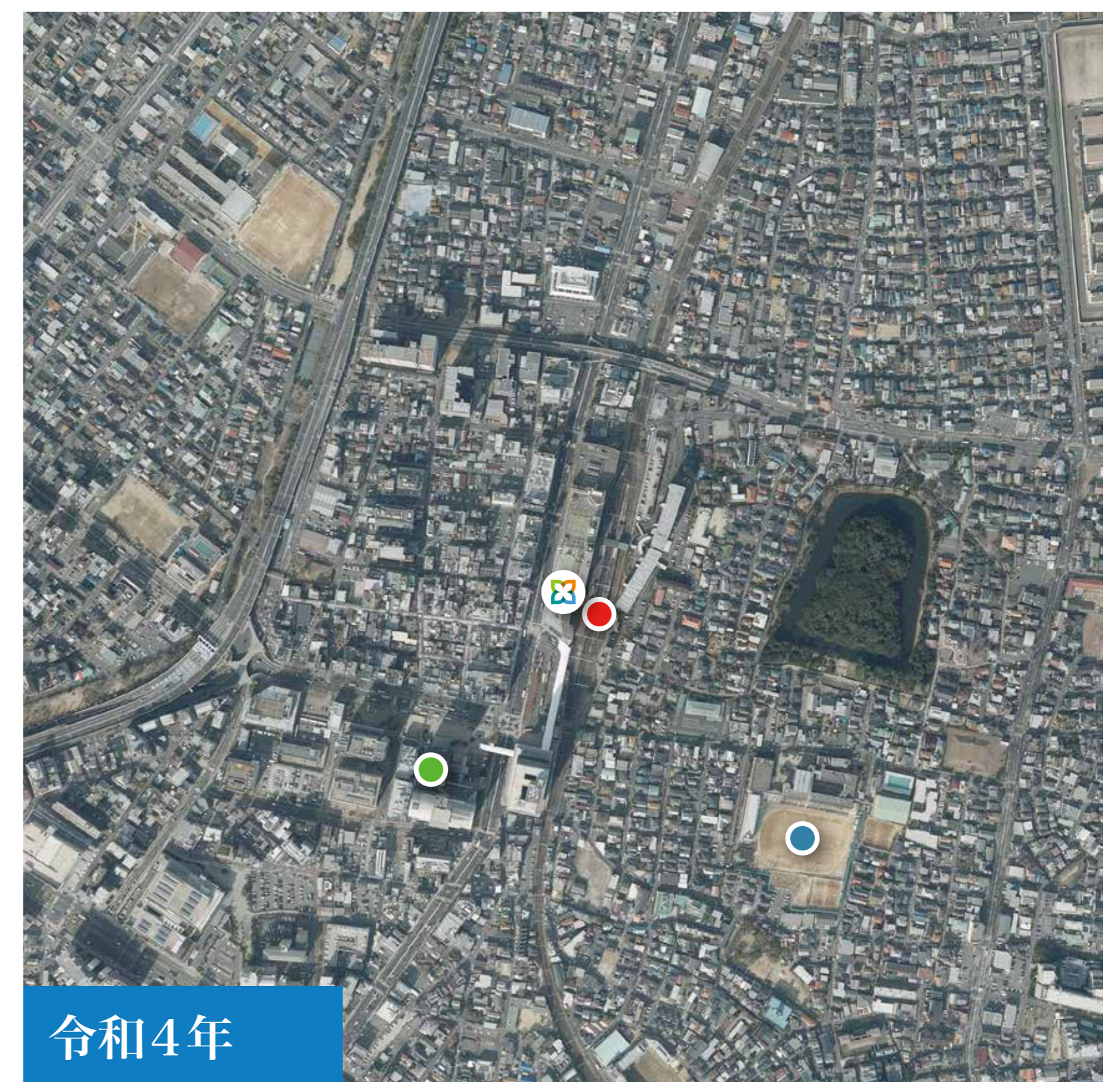
上空からみた堺エリア



昭和23年



昭和50年



令和4年

: 現在地
 : 大阪府立三国丘高等学校 : 堺市役所 : 堺東駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ